

感染症発生状況

令和5年6月28日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和5年6月19日（月）～6月23日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】498名 【職員】4名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】99名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（223名）、咳・鼻水（111名）、下痢・腹痛（51名）、嘔気・嘔吐（17名）

疾病別：新型コロナウイルス感染症（32名）、気管支炎・肺炎（27名）、
溶連菌感染症（13名）、胃腸炎（11名）

【職員】症状別：下痢・腹痛（4名）

疾患別：なし

**毎年流行する夏風邪のヘルパンギーナと手足口病が
岩手県ではヘルパンギーナが先行する形で流行が始まりました。
乳幼児に多い病気です。皆様ご注意ください。**

【症状別の発生状況】

新型コロナウイルス感染症 河南地区、都南地区で増加しました。河北地区で減少しました。

気管支炎・肺炎 玉山地区、厨川地区、盛南地区、河南地区で増加しました。

河北地区、都南地区で減少しました。

溶連菌感染症 盛南地区、都南地区で増加しました。河南地区で減少しました。

胃腸炎 河北地区、河南地区で増加しました。厨川地区で減少しました。

【県の状況（6/12～6/18）】

新型コロナウイルス感染症は、定点あたり患者数が4.75人と減少しましたが、盛岡市や中部・宮古地区でクラスターの発生が計5件ありました。引き続き、手洗い・咳エチケット等基本的な感染予防対策に留意してください。県は有症者の相談や受診先を紹介する「いわて健康フォローアップセンター」や高齢者等宿泊療養施設の運用を継続して行います。

ヘルパンギーナは、奥州地区で報告数が定点あたり患者数20.75人と警報値（定点あたり患者数6人）を大幅に超えました。近隣の中部・一関地区でも増加の傾向にあり注意が必要です。発熱と喉の痛み、口の中に現れる水疱性発疹を主症状とするウイルス性感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行する夏風邪の代表的疾患です。乳幼児は口内の発疹により水分を摂取しにくくなるので脱水に注意が必要です。予防には手洗いやうがいのほか、患者との濃厚接触やタオルの共用を避けることが重要です。

手足口病は、口内や手足に現れる水疱性発疹が主症状の乳幼児を中心に夏季に流行する感染症です。まれに髄膜炎等を併発することがありますので、高熱や嘔吐等がある場合は速やかに受診してください。予防にはヘルパンギーナと同様の対策が必要です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】